



# 国内電子データベースの動向

～教育での有効な利活用と効率的導入に向けて

2016年7月1日

丸善雄松堂株式会社

# 日本の大学図書館での電子媒体の導入加速

資料種別		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
		支出額	対前	支出額	対前	支出額	対前	支出額	対前	支出額	対前	支出額	対前
書籍	和書	17,045	102%	15,817	93%	15,173	96%	14,482	95%	13,679	94%	12,752	93%
	洋書	8,817	97%	8,019	91%	7,560	94%	7,409	98%	7,231	98%	6,815	94%
	小計	25,863	100%	22,836	88%	22,733	100%	21,891	96%	20,910	96%	19,567	94%
冊子体 定期刊行物	和雑誌	5,177	110%	4,865	94%	4,711	97%	4,599	98%	4,552	99%	4,493	99%
	洋雑誌	14,750	83%	12,599	85%	11,473	91%	10,060	88%	9,928	99%	10,445	105%
	小計	19,928	89%	17,464	88%	16,184	93%	14,659	91%	14,480	99%	14,938	103%
電子 ジャーナル	和雑誌	1,189	127%	1,034	87%	955	92%	915	96%	987	108%	1,174	119%
	洋雑誌	19,652	112%	19,680	100%	20,821	106%	21,832	105%	23,609	108%	26,396	112%
	小計	20,841	112%	20,714	134%	21,776	105%	22,747	104%	24,596	108%	27,570	112%
定期刊行物 小計	和雑誌	6,367	112%	5,899	93%	5,666	96%	5,514	97%	5,539	100%	5,667	102%
	洋雑誌	34,402	97%	32,279	94%	32,294	100%	31,892	99%	33,537	105%	36,841	110%
	小計	40,770	99%	38,178	94%	37,960	99%	37,406	99%	39,076	104%	42,508	109%
電子書籍	和書			195	—	261	134%	366	140%	329	90%	336	102%
	洋書			456	—	470	103%	640	136%	615	96%	692	113%
	小計			651	—	731	112%	1,006	138%	944	94%	1,028	109%
データベース	国内製品			2,144	—	2,419	113%	2,518	104%	2,625	104%	2,875	110%
	海外製品			3,181	—	3,421	108%	3,559	104%	4,164	117%	4,300	103%
	小計			5,325	—	5,840	110%	6,077	104%	6,789	112%	7,175	106%
その他		7,840	110%	3,560	45%	3,255	91%	3,255	100%	2,837	87%	2,683	95%
総計		74,473	101%	71,551	96%	70,519	99%	69,635	99%	70,556	101%	72,961	103%

文部科学省「学術情報基盤実態調査」（単位：百万円、2016年3月発表）

# 図書館へのニーズの変化と電子資料

## 現状における図書館の課題

- **増え続ける蔵書の管理**  
⇒ 図書館の蔵書スペースが有限な中、書籍・定期刊行物の購入は止まりません。
- **図書館に対するニーズの変化と複雑化**  
⇒ 図書館を単なる「閲覧の場」ではなく、ラーニングコモンズなどとしても環境を整え、様々な情報利用へのサポートを提供することが求められつつあります。
- **学生の図書利用のあり方や変化**  
⇒ インターネットの普及などを通じて冊子体の書籍や定期刊行物以外にも参照できる情報が増加する中で、学生の冊子体資料への依存度が低くなりつつあります。

## 図書館に関わる外部環境の変化

- **図書館で購入されてきた資料の電子化進行**  
⇒ 海外の学術定期刊行物の急激な電子化に端を発し、大学で利用される教育・研究向けの書籍や定期刊行物の多くがインターネット経由でも提供されるようになっていきます。
- **教育や学びのプロセスの変化**  
⇒ 新たな情報通信環境に基づくICT教育、そしてグローバル化に対応する研究・教育の確立が模索されています。



- ラーニングコモンズに代表される新たな“コミュニケーション” や“学びの場” としての図書館を作り出すには、こうした場の有効活用に貢献する資料類＝コンテンツの充実が不可欠です。
- データベースや電子書籍をはじめとする電子的なコンテンツは、アクティブラーニングのような新しい学びのあり方を効果的に実現します。

# 電子資料導入の効果と評価

## 図書館

- ・全学利用(すべての学部・キャンパスで利用可能) ⇒ **複本購入の必要性軽減**
- ・大量に購入してもスペースを必要としない ⇒ **スペースセービング**
- ・欠本、紛失・破損等の冊子体で起こる図書館の**管理負担・コストが低減**
- ・冊子体と異なり、利用統計の取得が可能 ⇒ **効率的な予算配分が可能**

## 教員

- ・急速に進んでいる**ICT化社会に対応出来る人材の育成**
- ・ネットでググる癖から、先ずは**オーソライズされた出版物で調べる学修習慣づくり**
- ・学生の為の主体的・能動的学修環境の提供 ⇒ **アクティブラーニング環境**
- ・授業前の事前学修・予習が可能となり、**反転授業が実現可能**

## 学生

- ・図書館の閉館時間に関係なく、**いつでもどこでもインターネットでアクセス可能**
- ・ダウンロードが可能であり、**文献管理や論文作成での利便性が高い**
- ・複数のユーザーによる**同時利用(同時アクセス)が可能**
- ・複数の重い冊子体の**持ち運び負担からの解放**

# 利用シーンに合わせたデータベースご導入のお勧め

- ①就活支援
- ②グローバル化
- ③レポート作成
- ④視聴覚メディアを使用した学習



# 電子書籍による学修環境の充実：Maruzen eBook Library

2012年2月のサービス開始から急速に拡大し、2016年4月末現在で、180社を越える学術専門出版社から約25,300点の書籍・学術雑誌をご提供いただいています。

和書の専門書・研究書・レファレンス・学術雑誌バックナンバーの他に、多読用リーダー、PC教材・IT資格、就活支援本などの学生用図書も多数ございます。

## コンテンツ数

2012年2月スタート  
3出版社 180タイトル

国内最大級の  
学術電子書籍  
サイト!!

Maruzen  
eBook  
Library

184出版社  
約25,300タイトル!

## 分野別構成比率

